

## 2014（平成26）年度 看護学部自己点検・評価報告書 ラーニング・アウトカムズの測定状況

### 【1】ラーニング・アウトカムズの測定状況

- ① 学部の看護技術検討会にて看護技術到達度のチェックリストを作成中である（資料を添付）。
- ② シラバスの到達目標の記載について学部FD委員会で点検し、学生に分かりやすい望ましい表記がされたシラバス2つを7月11日開催の第4回学部教授会で紹介した。  
「到達目標」は成績評価Bの基準として示すことを学部として推奨した。
- ③ 12月16日～17日に看護学部1年次の科目である生活援助技術Ⅲにおいて模擬患者を招いて「足浴」、「洗髪」を行った。将来のOSCE（Objective Structured Clinical Examination；客観的臨床能力試験）導入に向けて、公開授業とし、7名の教員が授業参観をした。

### 【2】学部独自のFD活動

- ① 9月9日に、看護教育学習会を開催し、31名中25名の教員・助手が参加して、看護教育の歴史的変遷と本学部のカリキュラムの特徴について共通理解を深めた。
- ② 11月7日に2014（平成26）年度臨地実習指導者研修会を開催し、31名中26名の教員・助手、実習施設の指導者約100名が参加した。本研修会は、効果的実習指導を行うために必要な知識・技術を修得することを目的とした。
- ③ 2015（平成27）年3月23日に、第1回FDカフェを予定している。これは、教員相互のリラックスした対話を通して、学生にとって、わかりやすく活用しやすいシラバスを作成するための気づきを得ることが目的である。

### 【3】点検・評価

上記のように学部独自の、ラーニング・アウトカムズ測定を目指した活動とFD活動が着実に進められていることは評価できる。

今後の課題として、学部CP、DPを元に、学部専門科目ラーニング・アウトカムズを策定し、「カリキュラムマップ」を作ることが挙げられる。

「カリキュラムマップ」作りを目指して、各教科の到達目標がCP、DPのどの項目に合致するかアンケートを次年度中に実施する予定である。